



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

「自動車」専門リース



KIRIX
「先進のカーリースシステムで
経営合理化をサポート」

キリックスリース

0120-119-175

●名古屋●東京●大阪●福岡

言葉

経験というけど、もついいです。そろそろ上位に勝ちたい

大相撲九州場所まで4敗目を喫し、2場所続けて千秋楽に賜杯を逃した平幕・熱海富士(21) 21面

避難2度目の冬見えぬ春

ウクライナから来日

ロシアによるウクライナ侵攻から1年9カ月が過ぎた。来日したウクライナ避難民も帰国のめどがたらず、2度目の冬を迎えようとしている。滞在の長期化により、12月からは定住者の在留資格を与える新制度も始まるが、日本語の習得や仕事探しで悩みを募らせる人たちも増えている。

(伊勢村優樹)

愛知県西尾市の海沿いに立つホテルで19日、東海地方に住むウクライナ避難民約75人を対象にした相談会が開かれた。行政手続きや仕事、医療、教育など、官民の専門家が集まり、日本人の生活の困り事や疑問に答えた。

「日本語が分からなくて、日本の大学に入れる？」。東部ドニプロから名古屋市南区に避難してきた高校生、ロフスキ・キリ

ルさん(16)は、母親のインナさん(38)と参加し、そう尋ねた。両国の教育課程の違いから入学には壁がある。オンラインでウクライナの高校の授業を受け、来年6月に卒業予定だが、キリルさんによると、日本で大学に出席する資格がないという。



た。「まだ帰国はできないし、医学部の勉強は実習もあるオンラインではできない」と困惑する。各種団体による「あいちなごやウクライナ避難者支援ネットワーク」が企画。気持ちは和らげてもらおうと、1泊2日の日程で、相談会だけでなく、避難民らが合唱などを披露する交流会も開かれた。定住者の在留資格を与え、保護する制度を始める。

画。気持ちを和らげてもらおうと、1泊2日の日程で、相談会だけでなく、避難民らが合唱などを披露する交流会も開かれた。定住者の在留資格を与え、保護する制度を始める。

進学・仕事 定住新制度も日本語の壁

相談会でも新制度のメリットや、申請方法についての質問が相次いだ。在留資格を得ても、日本語が分からなければ仕事を得ることは難しく、日本語習得について尋ねる人も多かった。朝日大に留学しながら岐阜県内で避難生活をするキリユヒヌ・キリルさん(19)は「バイトもしたいけど、日本語のレベルが不十分。就職などはもっと勉強しないとできない」と漏らす。侵攻が長期化する中、戦地を経験した人も、名古屋市に避難するオレクサンドル・シユムスキーさん(38)は、ウクライナ軍に召集され、ドローンの専門部隊にいた。ドローンから爆弾を落とすことが仕事で、戦場ではちぎれた足や手が転がる惨状も見た。

出入国在留管理庁によると、22日時点で、全国のウクライナ避難民は2104人。愛知は東京、神奈川、大阪に次いで多い126人がいる。その他の中部5県では三重1人、岐阜14人、長野5人、福井10人、滋賀19人。

避難民の支援を続けてきたNPO法人レスキューストックヤード(名古屋市中区)の担当者加藤絢子さん(47)によると、ドン・キホーテやニトリなど避難民の雇用に力を入れる企業もあるが、日本語の読み書き能力がないと採用を断られる例も多い。

母国でのキャリアを生かした仕事をしてい

中部6県に175人

る人はほとんどおらず、仕事があっても、パートタイムがほとんど。加藤さんは「収入がないことでなるべく節約し、風呂に入らなかったり、エアコンをなるべく使わなかったりする人もいると聞く」と明かす。

避難の長期化やパレスチナ自治区ガザを巡る情勢もあり、ウクライナ侵攻への関心は低下し、同法人が窓口となる避難民への寄付金は、個人からはほとんどなくなったという。加藤さんは「ウクライナを思い出してもらうためにも、路上で寄付を呼びかけるなど積極的にアクションを起こしていきたい」とする。